

意見書案

意見書案第1号

地方公務員法及び地方自治法の一部改正における会計年度任用職員の処遇改善と
雇用安定に関する意見書について

地方公務員法及び地方自治法の一部改正における会計年度任用職員の処遇改善と雇用安定に
関する意見書を次のとおり提出するものとする。

平成31年3月15日提出

議会運営委員長 十河剛志

地方公務員法及び地方自治法の一部改正における会計年度任用職員の処遇改善と
雇用安定に関する意見書

総務省調査によると、2017年度の北海道と道内市町村に働く臨時・非常勤等職員は、延べ6.3万人にのぼり、その多くが恒常的業務に従事するなど、地方行政の重要な担い手となっています。また、正規職員と同様の働き方に関わらず、年収は200万円程度と圧倒的に低く、休暇制度においても正規職員との待遇差は大きくなっており、地方自治体における正規・非正規の賃金・労働条件の格差は拡大する一方です。

こうした中、2017年5月11日、地方公務員法及び地方自治法の一部改正法が成立しました。新たな一般職非常勤職員である「会計年度任用職員」は、非常勤職員を法的に位置づけるとともに、職務給の原則に基づき、常勤職員との均等待遇を求めています。

よって国においては、行政サービスの質の確保と、臨時・非常勤等職員の待遇改善、雇用安定の観点から、下記事項について実施するよう強く要望します。

記

1. 各自治体において、地方公務員法及び地方自治法の改正趣旨が十分に反映されるよう、必要な財源の確保について特段の配慮を行うこと。
2. 非正規労働者の格差是正を求める「同一労働同一賃金」の法改正の動向も踏まえ、パートタイム労働法の趣旨を「会計年度任用職員」に適用させるよう法整備を図ること。
3. 会計年度任用職員の処遇改善、雇用安定を図るため、任期の定めのない短時間勤務職員制

度の導入について検討を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成31年3月15日

士 別 市 議 会

(提出先)

内 閣 総 理 大 臣
財 務 大 臣
総 務 大 臣
厚 生 労 働 大 臣
内 閣 官 房 長 官
